レッスン：PYR NO.68

テーマ：生命の木

PYR KE07 No.14 S2 05/15

私の姉妹、兄弟たちよ、

スピリット、光、火の子供たちよ｡私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

　過去に生命の木について多くを述べてきました。それは創造界における最大および最小のものについての骨組みです。

　生命の木の一番上の大きな三角形、その三角形はアウタルキー（＊静止した自足状態）における絶対存在を意味しています。そしてその底辺から下に向かって最初の長方形がありますが、それはアウタルキー内におけるステートを意味し、それは創造界において創造、Lifeの現れの前の状態です。

　そしてその大きな三角形の底辺の両サイドにはセンターがあります。右にあるセンター（＊図上では左側の円）はロゴスの下降の始まりとそれ自体の内側の現れを意味します；つまり、ディバインの黙想であり、そこでは全てはそれ自身の中にあります。

　このポイントでは、その動きのなかでそれら全てのスピリット・セルフがそれ自身の微細な部分をスパークのように放ちます；つまり創造界内においてロゴス的現れを通じてそれがあるのです。

　反対側、つまり左側では（＊図では右側）スピリット・セルフがそれ自身の微細な部分を、いわゆる聖霊的イデアを通じて放ちます。それは絶対存在それ自身の中でのダイナミックな現れとなり、いわゆるアークエンジェルのオーダーとなります。

　それでは最初の長方形の次に、生命の木の次のポジションに来ます。そこでも創造界におけるロゴス的下降が続き、それは勿論“人間のイデア”です。創造が生じるステートです。そのセンター（次のセンターですが）には三角形があり、それはLifeのスパークを意味します。それは存在の諸世界のなかで現れます；それは人間のイデアを通じた魂のセルフエピグノシスの現れの始まりです。三角形はLifeのスパークとしてのLifeの本質を意味し、それがバランスの諸世界に入り、小さな円はLifeの本質内のスパークそれ自体を意味します。そこにある十字はバランスの世界への下降を意味します。なぜなら、現れは調和の世界を背後にするからです。十字はそれが生じるために4つのエレメントを使うことを意味します。ですから、ここでのシンボルはLifeのスパークが今や、魂のセルフエピグノシスとして現れの諸世界に入ることを意味します。

　生命の木の反対側では、Lifeの現れがアークエンジェルとして表現され、Lifeの様々な現象を管轄しますが、存在の諸世界では働きません。なぜなら、存在の諸世界では彼等には何の目的もないからです。しかし後に実存の諸世界で働きます。

　ですからLifeの現象として全ての王国、そして他の全てのLifeの現象があり、それらはアークエンジェルのオーダーのLifeの息吹の結果です。ですから、今、上から2番目の長方形があり、それは存在の諸世界、元型、法則、そして原因の諸世界です。

Page2

 さて実際、この位置そして下においてLifeの誕生、そしてLifeの誕生はHeavenly Mother(天の母）を通じてです。Lifeの全ての現れ、それが人間のイデアを通じてであれ、聖霊的であれ、中央の柱における下降であれ（それは勿論ロゴスの下降ですが）、それらは母を通じてです。

　さて、これらの諸世界はイエスキリストロゴスとしての絶対存在の現れの結果として創造されました。ですから、まず最初に絶対存在が汎宇宙的キリストロゴスとして現れ、それらの諸世界が築かれるためにイエスキリストロゴスとしての汎宇宙的キリストロゴスが必要であり、それはまた絶対存在であり、それはこの骨組みを提供し、また人間のイデアフォームを与えます。そのような理由により、私たちはイエスキリストロゴスをまた天人と呼ぶのです。これは全体を示す三角形です；しかし特に今イエスキリストロゴスとして下向きの三角形があります。六芒星は後ほど、見ていきます。

　ですから、この位置から下方で何が存在していようとも、それはイエスキリストロゴスまたは絶対存在、絶対Lifeがこの構造、骨組みを与えたからです。そしてレッスンで説明したように、この骨組みは創造界における最大および最小のものに共通しています。Lifeは実際にいかなるシンボルも必要としません。Lifeが*ある*のです。シンボルは現れの諸世界と創造界だけのためであり、それは人間がこのリアリティーを理解し、アプローチできるようにするためです；Lifeはいかなるシンボルも必要としません。

　ですから、存在の諸世界の4つのヘブンがあり、そこではLifeがその本質を完全に現しています。人間のイデアを通じての全ての現れは同じです、なぜならモナドセルフには全体から分離する何かがあるという認識はないからです。私たちが魂のセルフエピグノシスと会う時、それはあたかも全てと会ったかのようであり、それは勿論存在の諸世界における様々なアークエンジェルのオーダーについても同じです。そこではそれらは異なった仕事をしません；全部同じです、そこにはアークエンジェルのオーダーがあるにしても。

　さて次のポジション、それは下向きの大きな三角形の底辺であり、また上から2番目の長方形の下の辺であり、そこから下方へ実存の諸世界、現在のパーソナリティーの諸世界です。

　ロゴスのサイド（＊図に向かって左側）、それは人間のイデアからの下降ですが、そこでもまた魂のセルフエピグノシスとしてのLifeのスパークがあり、それが実存の諸世界において現在のパーソナリティーを活性化します。これらの実存の諸世界には3つの低いヘブンがあります…ノエティカル、サイキカル、そして物質界です。

　勿論、初めは現在のパーソナリティーとして現われるのではありませんが、しかしそれは活性化したLifeの現れです。そしてこのLifeの現れはLifeの本質を完全に現しており、アダムとイブはこの段階では性別がなく一つとしてLifeを完全に現しています。

　そしてまたこのシンボル（＊上から3つめのセンター、円）は、この現れが調和をバランスへと変えることを象徴しており、それは水平の線によって示されています。その現れは魂のセルフエピグノシスによって活性化されます、なぜなら私たちの内側にあるLifeのスパークは魂のセルフエピグノシスだからであり、しかし勿論そのポジションでは私たちは魂のセルフエピグノシスを永遠のパーソナリティーと呼びます。しかし、それは私たちの内側にあるスパークで、それは魂のセルフエピグノシスと一つになっています、それは魂からの微細なスパークなのですが、しかしそれでもそれはSoul（魂）なのです。

　反対側では（＊図の右側）、7つのアークエンジェルのオーダーがあり、それはこれから実存の諸世界において自分達の仕事をスタートするところです。実際、彼等の仕事はそのポジションから下に向かってスタートします。彼等は物質界を築こうとします；Lifeの現象の様々な王国を築き、そして勿論、人間のイデアのために肉体を築きます。レッスンで述べましたが、現在のパーソナリティーの肉体は聖霊によって築かれ、その現れは創造物ではなく、大いなる母を通じた現れです。そして今、ここから下方へノエティカル界、サイキカル界、そして物質界があります。

　さて、創造の諸世界でLifeのスパークによって活性化された現れ、それはサイコノエティカル界にいて、つまりアダムとイブとしてスパークによって活性化された現れであり、サイコノエティカル界で自らを現しています。その間、その現れはLifeの本質を完全に表現していますが、しかし目的が達成されるためには、それでは十分ではありません。その活性化された現れは限界ある現れの世界に入る必要があり、そのためには二元性が必要となります；それゆえ聖霊によって築かれた肉体があります。

Page3

 この瞬間からアダムとイブは2つに分かれ、性別が生じます；それまでは性別の能力はLifeのスパークのなかにありましたが、現れてなかったのです。そして今、二元性の現れ、意味を使う現れ、そして皆さんが知っているように現在のパーソナリティーとしての特徴があります。勿論、その目的はモナドセルフがそのワンネスと全体との違いを認識できることであり、他人の＜私＞とは異なる存在として＜私は私である＞と言えることです。それは自己実現のためであり、それが目的です；そしてそれが達成される唯一の方法です。なぜ？それは後ほど説明することができます。

　さて、物質の使用を通じて現れの一番低い波動の中への下降は、様々な法則の使用によって行われます。そしてそれらの法則はまた役割を演じます…それによってその現在のパーソナリティーが限界ある現れに入る前にいたステートに戻ることができるように。そしてそれらの法則は潜在的可能性の様々なサイクルのなかに見いだされます。この現れが限界ある現れに入るのを助けた同じ法則が、今度はもとのステートに戻る（しかし、戻る時には前と同じではなく何かが加わっています）ことが出来るように助けるのです。

　さて、この部分（＊下向きの三角形）は今述べたそのプロセスを示しています。エゴを現している現れがいて、エゴの様々な側面があり、法則があります。そしてこの一番下は物質界を意味します。そして物質的レベルは現在のパーソナリティーに可能な一番低い潜在的可能性のレベルを提供します。つまり、現在のパーソナリティーは完全に無知であるということです。

　そして反対側にはいわゆるヤコブの梯子（＊下向きの三角形における右側の辺）があり、そこには14の段があります。なぜなら、各アークエンジェルのオーダーには2つのステップ（段）があるからです。このポジション（＊一番下の10）は中宇宙的には私たちの地球を意味します；小宇宙的にはそれは肉体においてはいわゆるクンダリーニまたは男性及び女性の生殖器を意味します。小宇宙的にはまた肉体に関してこの位置は太陽神経叢を意味します。中宇宙的にはそれは月を意味します。そして、この位置（＊６）は太陽、そして小宇宙的には心臓、そしてここ（＊一番上の三角形）が頭です。

　さて、現在のパーソナリティーは今実存の諸世界のなかにいる、と言いました。なぜなら、現在のパーソナリティーが実存の諸世界にいると言いましたが、それは現在のパーソナリティーが同時にサイコノエティカル界と肉体の中にいるからです。今でもあなた方は、自分は実在の波動のなかだけにいる、と考えているかもしれませんが、そうではありません。あなた方は同時にサイコノエティカル界にもいるのです。なぜなら、現在のパーソナリティーとしてマインドのサイコノエティカルな波動のなかにもいるからです。しかし、マインドのそれらの波動は築かれておらず、それは創造物ではなく、ロゴス的現れなのです；創造物としての唯一の体は肉体だけです。

　さて、現在のパーソナリティーはLifeの本質を完全には現していないと言いました。また二元性の結果として意味が創造されています；二元性の結果として思考の活動があります；思考の活動がなければ、意味を創造することはできず、実際、二元性を持たないことになります。

　現在のパーソナリティーとしてこの実存の波動のなかにいることを私たちはどのようにしてわかるのでしょうか？二元性の結果として、意味の結果としてです；私たちは何かを理解し、それが何であるかを知るために、それを比較します；そして想念、思考の活動とは、同時に生じる問いと答え以外の何ものでもありません。私たちはそのようにして自分が存在していること、及び周囲の全てを理解するのです。

　さて、前に述べましたが、Lifeのスパークによる現れを助け､活性化し制限ある中に入るのを助けた同じ諸法則が、今度は現在のパーソナリティーがスパークに戻るのを助ける、と言いました。そしてそれらの諸法則は様々な潜在的可能性のサイクルのなかにあります。

　地のエレメント、墓のなかに2番目のサイクルがあり、現在のパーソナリティーはこの地のエレメントのなかでそのエレメントに囲まれています。そして現在のパーソナリティーはそのエレメント及び何であれこのエレメントの中にあるものに魅了されています。

Page4

 現在のパーソナリティーが2番目のサイクルを後にして3番目のサイクルに入ると、多くのワークと努力の後に、現在のパーソナリティーは180度回転してLifeのアベニューに入ります。これが起きると、勿論現在のパーソナリティーはもっともっと意識的に5つの感覚を使用するようになり、3番目のサイクルを完了し、真の感覚をマスターすることになります。

　このポジション（＊中央の柱の９？）は現在のパーソナリティーが5つの真の感覚をマスターしたことを意味します。つまり、真の五感を意味する法則を…それは五面ピラミッドですが…現在のパーソナリティーによって完了され、この法則はもはや現在のパーソナリティーにとって無用になったということです。しかしこのポジションから先において、現在のパーソナリティーにとって多くのワークが待っています。このポジションから先、火の洗礼が始まり、それはロゴスご自身によって行われます。

　そして、ここから上は現在のパーソナリティーが4番目のサイクルをマスターした時、それはつまり超意識的意識のセルフエピグノシスであり、何であれこの三角形（＊一番下の下向きの大きな三角形）のなかにあるものを達成し、いわゆる最初の磔に到達します。なぜ磔なのでしょうか？なぜなら、この小さな三角形は（＊大きな下向きの三角形の底辺を共有する下向きの小さな三角形）、もしそれを上向きにすると、その上にある平行四辺形の中にある上向きの三角形と一致します。その上向きの三角形は現在のパーソナリティーに提供されるキリスト意識の能力です。

　現在のパーソナリティーは実存の諸世界の境界を越えて存在の諸世界に入ることはありませんが、現在のパーソナリティーを活性化した、内側にあるLifeのスパークはLifeの本質を完全にその現在のパーソナリティーとしての現れに与えます。そしてイエスキリストロゴスが人間のイデアに、創造界の全ての人間に与えているのは、イエスキリストゴロスが人類のためにどのようにして磔になっているか、ということです。彼は人間として、アガピを現し、Lifeの本質を現している現在のパーソナリティーとして起きていることを示したのです。

　そして自己実現の時にこれが起きると、五芒星と共に現在のパーソナリティーを含んでいた14芒星は、頭上におけるイバラの冠となります。そして同時に5番目のサイクルが完了します。それは勿論、5番目のサイクルとは、高次ノエティカル体を使用し、感覚ではなく同調を使います。この全て、私が描写したことが一度に起きます。

　ですからこの三角形（＊下向きの小さな三角形）はキリスト意識の能力を与え、この瞬間からその現れは現在のパーソナリティーではなく、自己実現した現在のパーソナリティーであり、アガピの仕事をする時には、前のように名前と共に二元性を使用することはありません。

Q：自己実現した現在のパーソナリティーは実存の諸世界にいる時でも、二元性を使用しないということが可能なのですか？

K：もし転生するなら、可能です。Lifeはそうしたい時に、それ自身を現すことができないと思いますか？ですから、自己実現した現在のパーソナリティーという結果として、自己実現したLifeのスパークがあります。しかし、自己実現した現在のパーソナリティーは転生のサイクルに留まるでしょう、と言いました。そして高次ノエティカル体は完全に再形成されたサイコノエティカル体のなかにあり、そのパーソナリティーは新たな転生としていつでもそれを使用することができます…ディバインに、アガピに奉仕するために必要な時にはいつでも、それを使用することができます。その現在のパーソナリティーは二元性と5つの感覚を再び使用しますが、同時に同調を使用します。

　前に述べましたが、いかにして彼が十字架に掛けられたか、なぜなら彼は創造界における人類の大きな十字架を背負っています。しかし、彼の大きな十字架は実際、より小さな十字架によって、つまり自己実現に到達し、そして現在のパーソナリティーとして肉体を持っている人達によって形成されています。なぜなら、彼等はキリスト意識に到達しましたが、しかし十字架に掛けられるのは彼(He)なのです。それが誰か他の人の痛みを背負う、唯一の方法です。その誰かのために十字架に掛けられるのです。しかし、あなたは主の名前において十字架にかけられます、本当の意味で十字架に掛けられるのはHe（彼）なのです。

　ですから、重要なことは、この三角形は4番目のサイクルをマスターしたことを意味し、そのパーソナリティーは最初の磔に到達し､実存の諸世界をマスターするポイントに到達することを意味します；つまり、4つのエレメントを完全にマスターし、物質化および非物質化、そして何であれLifeが与えるものをマスターしたということです。勿論、自動的に5番目のサイクルが与えられます。

　さて、高次ノエティカル体を使用する自己実現のステートにおいて、自己実現したパーソナリティー（私たちは“現在の”とは言いません）には1つのセンターだけがあります…ハートのセンターです。考え、思考は使用せず、ノエティカル体はありません、肉体もありません。ですから1つのセンターだけがあり、そのセンターは絶対アガピを現しており、それはLifeの本質です。ですから1つのセンターだけです。それは純粋なアガピを放射する太陽です。

Q：それは継続的にいつもそうなのですか？

K：それは継続的にいつもそうではありません、なぜならその現在のパーソナリティーは実存の世界においてやるべき仕事があるからです。ですから、それはそこに留まり、サイコノエティカル体と肉体を使用します。しかし、太陽の輝き、それは確かに継続しています。なぜなら、その輝きは常にそこに現れているからです。しかし（＊高次）ノエティカル体を別の体として使うのは非常に稀なことです。そして使用する唯一の時は、その惑星から抜け出して他の惑星を訪れる時、または地球の引力圏の外にいる人間を助ける時です。そのような時にはその体を使用します。

　いずれにしても、他の三角形に関しては今の所それについてあなたが知る必要はありません。その意味は今の所はあなたの助けにはならないからです。勿論、それら2つの三角形が完全に同じ形なのは、目的があるからです。なぜなら、それら両方の現れ、つまり人間のイデアまたは聖霊的イデアのどちらを通じてでも、そのステートではまったく同じだからです。人間のイデアを通じた全ての現れは同時にアークエンジェルなのです。それらは両方とも意識の現れです。違いは、説明したように、セルフエピグノシスです。人間のイデアに自己実現の能力を与えるのはセルフエピグノシスとしての質であり；聖霊的イデアにとってそれはプログラムされたセルフエピグノシスであり、創造界において奉仕し、人間のイデアに奉仕するのです。

　自己実現において、現在のパーソナリティーはそのアークエンジェル的ヒポスタシス（＊状態）を現します。私たちがキリスト意識のステートに到達すると、私たちは魂のセルフエピグノシスとしてのアークエンジェルであり、そしてそのステートで肉体のなかにいてもその現在のパーソナリティーはアークエンジェルと共同で働いているのです。何であれ全てのアークエンジェルのオーダーが仕事として与えることを、自己実現した現在のパーソナリティーもまたすることができ、彼等と共に共同で働くことができるのです。

Q：アークエンジェルもまた肉体に転生できるのですか？

K：ノー、アークエンジェルはLifeの本質を完全に現しており、ディバインの黙想において彼等にはただ一つの目的があり、それはその活動、及び何であれその活動内のことに奉仕することです。私たちの個人的なアークエンジェルも自己実現したパーソナリティーにまだ付き添っていることに気づいてください。

Q：確かに、高次ノエティカル体は重力の影響を受けず、その違いは重力内にあるか、または外にあるかですか？

K：高次ノエティカル体であれば何の問題もありませんが、ノエティカル体は五感を使用するので、パーソナリティーを特定の惑星につなぐ肉体が必要なのです。高次ノエティカル体を使わず（＊肉体で）重力圏外に行くためにはテクノロジーが必要です。

Ｑ：サイコノエティカル体を視覚化する時、色または波動の感覚があります；しかし高次ノエティカル体の感覚をあなたはどのようにして得るのですか？

Ｋ：高次ノエティカル体は強く輝いている光です、そしてその色はホワイトピンク、金色、そして同時に非常に強烈な白の輝きです。目はその輝きに耐えることはできません、そしてどこで黒を見ても、それもまたもの凄い光であり、それを理解するのは不可能です。黒は普通は好まれる色ではありませんが、しかし私たちは二元性の世界にいるので、白と黒があるのです。そして人間にとって黒は無知を意味し、闇のシンボルとみなされています。僧侶は大体において黒を身につけますが、彼等はそれが何を意味するのか知らないのです。

Q：二つが一つになるという時の3つの十字について、説明してもらえますか？

K：最初の磔は先に話したもので、それは現在のパーソナリティーの大きな十字架をマスターしたということです。そして、自己実現した惑星になると、それ以降は他の惑星、他の太陽系、他の銀河系の同胞の人間たちに奉仕します。そして自己実現した惑星として、つまり自己実現した人類は自分達の魂に戻り、その魂は自己実現を現します。そして存在の諸世界において自己実現したSoul（魂）が誕生します。もちろん、そこで自己実現した魂が何をするのかは､私たちにはわかりません。最終的には勿論、彼等はスピリット・セルフに戻り、それによってそのスピリットは自己実現したスピリットとなるでしょう。彼等がこのポジション、つまり2番目の磔を通過すると、しかし彼等はただちにここを通過する必要があります。なぜなら、この長方形は実際なにも提供しないからです。ですから、2番目と3番目は実際には一つです。そして勿論3番目から上はat-one-ment、テオーシスです。

Page6

Q：ペンテコスト（＊五旬祭）では祝われるのは火の洗礼ですか？

K：火の洗礼の始まりです。それゆえに炎を見ることができ、彼等はそれを聖霊であると信じたのです、勿論、聖霊は内側から現され、またそれらは火の舌によって囲まれていて、多くの言語を話したと信じられています。それは比喩的には、それは内側から生じる英知であり、それは同調の始まりだったのです。

聖霊に関して、私たちはどのようなイメージを持つことができるでしょうか？羽のある何かでしょうか？結局、そのパーソナリティーは自分のアークエンジェル的ヒポスタシスからより多くを現すようになります。アークエンジェルは聖霊と比べられます。

　自己実現した現在のパーソナリティーが助けを与える時、それを行っているのは実際には主なのです。それ故に私たちは常にヒーリングの仕事、あるいは誰かの苦しみを軽減しているのは名前のある人（＊人間）ではない、といつも言うのです。それを行うのはHe（＊主）なのです。あなた自身のセルフがあなたの仕事場となるべきだ、ということを理解する必要があります。セルフとはここでは全体としてのあなたの実在、つまり肉体とサイコノエティカル体を意味します…それがあなたの仕事場です。あなたは離れたところから何か他のものについて働くのではありません；どれだけ多くの努力をしているかによって、人は前進するのです。人生における全ての良いことは、大きな努力の結果であるべきです。贈り物とした与えられるものは何もありません。私たちはそれを努力によって得る必要があるのです。

この部屋には約30人の人がいます。あなた方はグループとして前進するのではありません。各人は個人であり、各人はその人の努力によって前に進みます。確かに、進化成長の一般的レベルはあります。しかし、あなた方各人がどれだけ努力したかに応じて前進していくのです。

Q：私たちが肉体を去った後、私たちのエクササイズをどのように行うのですか？そしてもし私たちがまだエレブナにいる場合、私たちはそれを聞き、見ることができるのですか「？

K：レッスンで述べましたが、他人を助けることを自分の人生の目的とした真剣な探究者の恩恵とは、生きているこの世界で行ったワークは確かに肉体を去っても続くでしょう。いいですか、このワークは眠っている間も続くのです、勿論あなた方はそれを覚えていませんが。

　肉体を去った後も、その人が喜んで行っていたことを続けて行う、と前に述べました。探究者としてあなた方が真剣に、正直に行えば、死んだ後もそのワークは継続し、その恩恵は偉大なものとなるでしょう。なぜ、偉大なのでしょうか？なぜなら、そこではあなたが何かをするようにと指示されると、それを同時に体験することができるからです。なぜならそこでは異なった法則が働くからです。

　誰かがあなたに言えば、そこにいるヘルパーが例えばあなたに飛ぶようにと言えば、あなたは飛ぶことができるのです。何かを変えるために創造エーテルを使用することができると誰かがあなたに言うと、あなたはそれを行うことができるのです。つまり、サイコノエティカル界における法則のリアリティーに自分の指で触れることができるのです。勿論、その後で転生してくる時にはそのことを覚えていませんが、しかしその体験は記録されるのです。

Q：視覚化を職業として行う人がいますが、彼等はこのテクニックを使用することができるかどうかです。なぜなら、私たちが視覚化を行いますが、彼等もこの知識を使って仕事のなかで提供することができるのでしょうか？

K：もしこの種のワークが医師によって、あるいは一般的に人を助けるために使用されるなら問題はありません；もしそれが前から彼等の職業であれば、それを続けることができます。しかし、それを行うがゆえに、そのような助けを与えるがゆえに、より多くの金銭を要求するのなら私はそれを勧めません。勿論、人は毎日の生活を生きるためにお金が必要ですが；しかし可能であれば、上から無料で与えられたものは、無料で提供すべきです。

しかし、あなたがここで与えられたことだけを使い、オフィスを開いて、与えられた結果としてそれをあなたの職業とするなら、私はそのようなことは勧めません。それを私が禁止することはしませんが。

EREVNA PYR 68